



本社：北港物流センター

○本社所在地：大阪市此花区
○事業概要：冷蔵倉庫業・食品加工業
利用運送業

○常時使用する従業員：221人（グループ
全体 2025年1月期）
○現在の売上高：76億円（2025年1月期）
○法人番号：7120001026785
○Web：https://www.frigo.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
西願 敦司

“安全で安心できる食品を安定して供給し、
豊かな日本の食生活を持続可能なものにする”

今我々が享受する豊かな日本の安全で安心できる食生活は大きな曲がり角を迎えていると感じています。当社は“安全で安心できる食品を安定して供給する”という企業理念から、国内では輸入冷凍野菜・果実の市販商品へのリパックサービスというメーカー機能の拡充。また、海外においては野菜、果実、水産品、鶏肉の原料供給国として大きなポテンシャルを持つインドに着目して、日本の消費者の品質基準に見合った現地でのモノづくりと商品の品質維持を可能にする一気通貫の低温物流をセットにしたサービスの立ち上げを目指しています。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2032年度の目標達成に向け
①顧客の需要増に応えるために、国内加工工場を増設する。
②新規事業領域の拡大を図るために、インドに食品工場を新設し日本品質の農産物を供給する。

課題

①国内加工ラインの増設と冷凍設備の脱フロンの取組。
②インドに加工場新設。海外人材の育成、海外企業との提携により現地人材の確保、育成。
生産した農産物の販売ルート開拓。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

①国内では冷凍野菜・果物のリパック加工ラインを増設し、旺盛な顧客ニーズを取り込む。
②生産地の海外に工場を建設し冷凍野菜・果物のリパック加工のノウハウを導入し輸入商社のニーズ（特に品質面）に応える。特にインドへの進出の可能性を探る。同時に輸入商社への営業を強化し販路を開拓する。

実施体制

①国内加工ラインの管理者育成。大手食品メーカーより責任者となる人材を採用し生産力増強と品質向上を両立させる。
②社長直轄の社内プロジェクトチームを立上げ、生産地のインド企業との提携を検討する。また進出の際の海外人材を発掘、育成する。

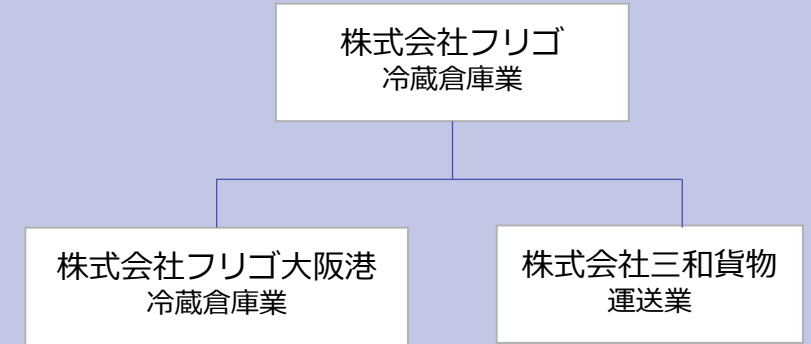
売上高100億円実現の目標とグループ体制

フリゴは、100%子会社である株式会社フリゴ大阪港で冷蔵倉庫業を、株式会社三和貨物で冷凍食品の運送業を行っています。

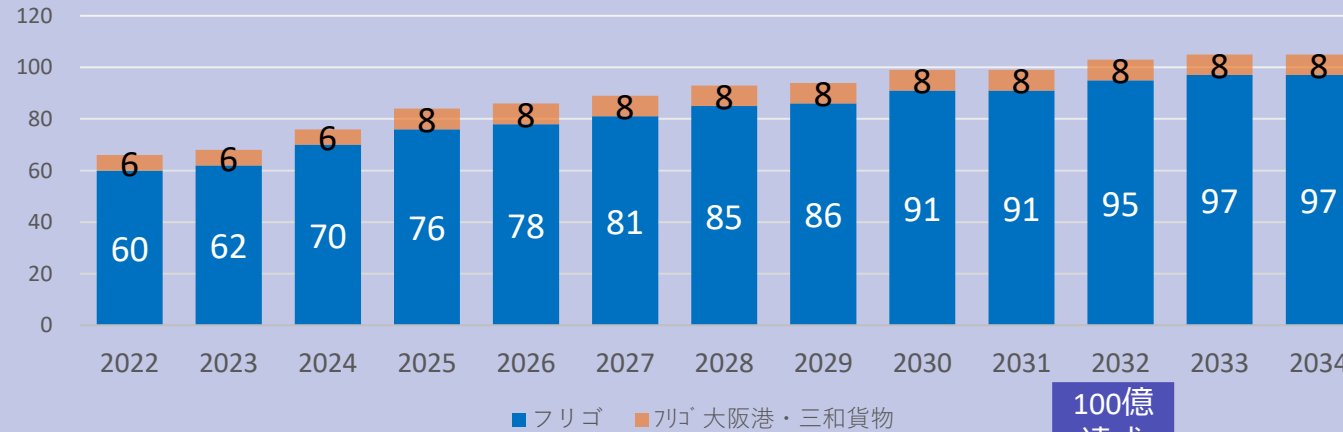
フリゴの主要荷主は冷凍野菜の輸入商社や冷凍食品のメーカー、フリゴ大阪港の主要荷主は大手水産会社とすみ分けており、三和貨物はグループの運送業務を手掛け相乗効果を発揮しています。

グループ計7拠点にて冷蔵倉庫業が本業ですが、他社との差別化を図るために付加価値として冷凍野菜・果実のリパック加工に注力して売上を伸ばしており、この分野は今後も成長が期待できます。

売上100億実現のために、国内ではリパック加工の一層の増強に取組み、将来的には海外に加工工場を新設し、野菜・果実の選別、加工、保管、物流など一気通貫したサービスを展開したいと考えています。



売上高


100億
達成


食品リパック機械